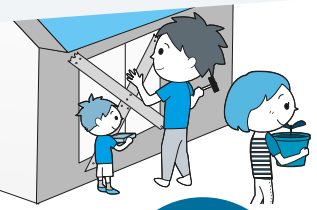


台風災害に備えて 対策をチェック



家の外の 備えを行う

- ☐ 窓はしっかり鍵をかけ、必要に応じて補強しましょう。
- ☐ 風で飛ばされそうなものは固定したり屋内へ格納しましょう。
- ☐ 側溝や排水路は水はけを良くしておきましょう。

家の中の 備えを行う



- ☐ 懐中電灯などの非常用具を確認しましょう。
- ☐ 水や非常食品(缶詰、レトルト食品など)を準備しましょう。

不要な外出 は控える



- ☐ 暴風により、物が飛んでくる可能性があるので、不要不急の外出は控え、危険な場所には近づかないようにしましょう。

！道路冠水注意喚起

近年、気象状況の変化に伴う集中豪雨が多発し、記録的な豪雨による道路冠水などの被害が相次いでいます。このような浸水害は、非常に激しい雨が降ることで排水処理能力を超えてしまうことにより発生しますが、道路の側溝や集水桝に落ち葉やごみ、土砂などが溜まっていると、雨水が流れにくくなり道路冠水などが発生する要因の1つとなります。集中豪雨や台風などに備え、糸満市としても対策を行いますが、市民の皆さまにおかれましても、ご自宅周辺の道路側溝や集水桝の落ち葉やごみ、土砂の清掃にご協力をお願いします。また、LINEによる防災情報も発信しておりますので、友達追加をぜひお願いします。

問い合わせ 秘書防災課 ☎ 840-8245

！台風接近時はごみの出し方に注意

台風接近時のごみ収集は次のとおりです。

- ① 8時30分の時点でバスが運行停止している場合、その日のごみ収集は中止します。
- ② 「①」のときにバスが午前中に運行再開した場合、午後からもやせるごみの収集を開始します。その際もやせるごみについては12時30分までにに出してください。
- ③ 午後になってバスが運行開始した場合、その日のごみ収集は行いません。
- ④ ごみ収集中に警報が発令され、バスの運行が停止した場合、その時点から収集を中止します。出したごみが収集されていない場合、ごみを回収して次の収集日に出してください。

問い合わせ 市民生活環境課 ☎ 840-8124

近年、強大な台風が多数発生し、各地で大きな被害をもたらしています。油断せずに日ごろから十分な台風対策を立てておきましょう。

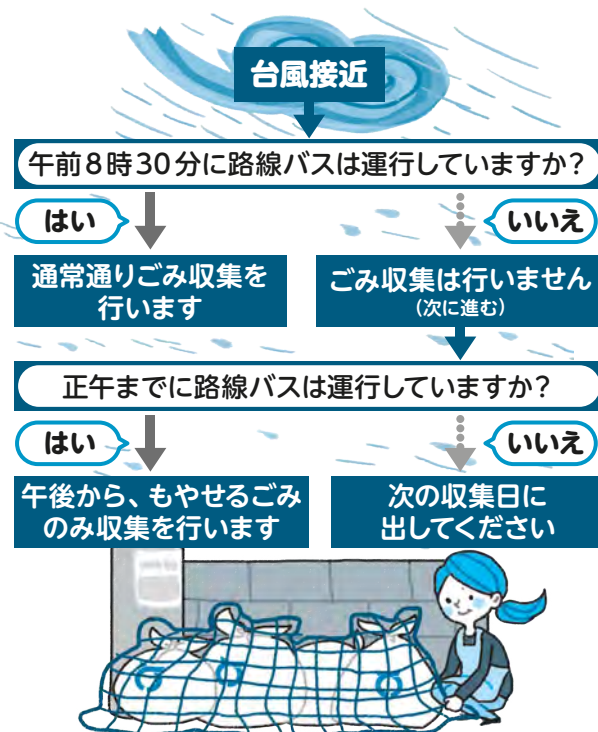
問い合わせ 秘書防災課 ☎ 840-8245

！農家の皆さんへ 台風対策していますか？

ビニール・マルチなどが電線や電柱に引っかかると風圧が増して電線が切れたり、電線と電線が接触して停電につながる場合があります。台風接近前の対策が重要となりますので、次の対策についてご協力をお願いします。

- ☒ ハウスや管理小屋の補修を終えましょう。
- ☒ ネットなどでの固定や早めの撤去などでハウスのビニールの飛散を防ぎましょう。
- ☒ マルチはネットや土嚢などで押さえましょう。
- ☒ 不要なビニール・マルチなどは片付けましょう。

問い合わせ 農政課 ☎ 840-8134



タイトル(題字)

を募集します！

広報
いとまんの

市民の皆さまから親しまれる広報紙を目指して、広報いとまんのタイトルを募集します。

- 募集対象者 糸満市民
- 募集内容 広報いとまん表紙の題字
- 応募方法 白用紙に横書きで「いとまん」を墨書きなど。

※ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベット可
※応募の際には、①氏名、②住所、③連絡先を書い

- た紙を同封して、持参または郵送してください。
- 注意事項
 - ①採用された人は広報いとまんでインタビュー記事(顔写真)を掲載します。②題字をオリジナルのデザインで装飾しても構いませんが、判別しやすいものとする。また、第三者の著作権などの権利を侵さないものを応募してください。
 - 応募期限 8月12日(金) 必着
 - 応募先 〒901-0392 糸満市潮崎町1丁目1番地 糸満市役所秘書防災課広報広聴担当あて
 - 問い合わせ 098-840-8118

【消えた？島の刺青文化「ハジチ」】
観光案内資料で沖縄は「太平洋の亜熱帯の島」として紹介されていることが多いです。正しい説明でありながらも、現代の沖縄人に具体的に地域の文化にどういう影響をもたらして、どこまで根付いているかを尋ねてみると、答えが詰まることも多いです。

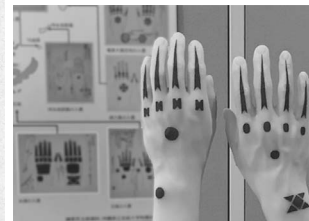
本部町にある「海洋文化会館」に訪れてみたら、琉球諸島と他のアジア太平洋地域の島々(いわゆる台湾、フィリピン、ハワイや南太平洋、インドネシア、ポリネシア、サモアなど)との共通文化や共通の自然環境遺産についてよく解ります。確かに沖縄は南の島の仲間だと実感します！

例えば、木船を使って礁池(イノー)についての漁法、タイモとウミガメなどの食文化や島ならではの家の床を地面から上げる作り方なども共通な考え方が目瞭然です。それだけではなく、部族的な風習の中にも似ているところがたくさんあります。沖縄独特の「門中」制度は日本の文化よりも、メラネシアの文化に近いように感じます。また、海を渡る海人に唯一の目印になっている星空を仰ぐ、島で暮らすのに必要不可欠な湧水を聖地化する、危険な外海の海や台風から守ってくれるイノー(礁池)も神秘的な空間として扱うことも古代からの共通な信仰です。

私の目から見ると、台湾・タヒチ・ニュージーランド、太平洋の島々に多くみられる民族刺青の文化が沖縄にも存在していたことが興味深いです。それはハジチ(糸満では「ハジャキ」と言います。ハジチは16世紀の琉球王国時代から明治末期の「文明化」まで、女性の手の甲や腕に施術されていました。昭和の初期まで、密かに施術されることがまだありましたが、1899年に日本の禁止令の下で一旦途絶えた風習です。由来は未だに定かではないようですが、かつて部の貴族の女性の印から、一般の女性に広がった説もありです。施術する意味と理由、模様は各島で異なっており、時代によっても変わってきましたが、他の南の島と同様、その人のアイデンティティと生涯を表すことが一緒です。我がまち糸満では、ハジチは女性だけではなく、唯一男性のハジチの目撃の記録が残っています。しかも模様は漁具だったそうです。流石の海人のまっし！

ハジチは一旦消えてしまいましたが、大事な文化財として、記録を残すように調査と研究されて、沖縄でハジチについての展示会も見ることがあります。最近、沖縄のルーツを誇って、変わった形で施術する若者も見かけます。ポリネシアの民族刺青と同様一旦消された島の風習が復興するだけではなく、沖縄の大切な「太平洋の亜熱帯の島」の文化として、世界中の憧れになるといいなと思います。

ルド



沖縄県糸満市 Itoman City

■人口			■火災・救急		
	5月	前月比		5月	前年比
人口	62,492	31	火災	0件 (5件)	-3 (-10件)
男	31,660	-15	救急	309件 (1343件)	67 (147件)
女	30,832	46			
世帯数	27,800	11			

※()内は令和4年の累計

- 面積 46.60Km² (2021年10月1日現在)
 - 市の花木 ブーゲンビレア ■市の木 ガジュマル
 - 市の花 日田草 ■市の魚 タマン
- (人口、世帯数、火災・救急件数は2022年5月末現在)



「声の広報」届けます

目の不自由な人に糸満市の情報を届けるため、広報いとまをCDに吹き込み配布しています。「声の広報」を希望する人は、秘書防災課(☎840-8118)まで問い合わせてください。

ラジオ広報・市役所便り (FMたまん)

- 月～金
- ① 7時45分～7時50分
- ② 12時55分～13時
- ③ 17時55分～18時
- 土～日
- ④ 12時55分～13時